

映像祭2011

アニメ × 実写

原恵一監督と実写映像をつくろう

HARA Keiichi

原 恵一

7/31 SUN

14:00-18:50

会場：立命館大学 衣笠キャンパス 充光館301教室

主催：立命館大学映像学会

入場無料

映像祭 2011

アニメ × 実写

原恵一監督と実写映像をつくろう

アニメは、ファンタジーを表現するのに適しているもの?ロボットが出てくるもの?可愛い女の子が出てくるもの?子どもが見るもの?『河童のクゥと夏休み』(2007)、『カラフル』(2010)など、日常的な空間を丁寧に描写した作品を手がける原恵一氏は、そうしたアニメに対する見方とは一線を画した仕事を展開してきたアニメーション監督です。今回の映像祭では、その原恵一監督と実写映像の制作ワークショップを行うというかつてない試みにチャレンジします。このイベントを通じて、アニメ監督の演出術を体感してもらい、あわせてアニメとは何かについても考えてみたいと思います。

■ プログラム PROGRAMS

7月31日(日)

13:45 ー 開場

14:00 ー 講演会・質疑応答

15:00 ー 休憩

15:10 ー ワークショップ

○絵コンテ制作

○撮影チーム編成

○原監督と実写撮影

17:20 ー 休憩

17:50 ー 作品上映(ワークショップ作品 × 募集作品)

原監督のコメント・質疑応答

18:50 ー 終了

※撮影等のスタッフは立命館大学映像学部生が担当します。

■ ゲスト GUEST

原 恵一

HARA Keiichi



アニメーション監督

1959年生まれ、群馬県出身。東京アザイナー学院卒業後、PR映画の制作会社を経て、1982年にシンエイ動画に入社。1983年TVアニメ『ドラえもん』で演出家デビュー。『エスパー魔美』『21エモン』『クレヨンしんちゃん』などを手がける。クレヨンしんちゃんでは、6作品の監督を務め、2001年『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ モーレツ!オトナ帝国の逆襲』、2002年『クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶ アッパレ!戦国大合戦』は大人も楽しめるアニメとして高い評価を受ける。2007年『河童のクゥと夏休み』など、丁寧な日常描写が特徴。昨年8月に監督をした『カラフル』ではアヌシー国際アニメーション映画祭において、特別賞と観客賞を受賞。

立命館大学映像学会 学生委員会は、映像学部生に映像に関する自発的な研究を促し、その成果の発表の場となる企画を発信しています。

立命館大学衣笠キャンパス

● JR・近鉄京都駅

市バス 50 / 快速 205 にて (約 35 分)

「立命館大学前(終点)」下車

市バス 205 にて約 35 分、「衣笠校前」下車、徒歩 10 分

JR バスにて約 30 分、「立命館大学前」下車

● 阪急電車西院駅

市バス 快速 202 / 快速 205 にて (約 20 分)

「立命館大学前(終点)」下車

市バス 205 にて約 20 分、「衣笠校前」下車、徒歩 10 分

● 阪急電車河原町駅(四条河原町)

市バス 12 / 51 にて (約 40 分)「立命館大学前(終点)」下車

● 京阪電車三条駅

市バス 15 / 59 にて (約 30 分・市バス 15 は終点)

「立命館大学前」下車

2011年7月31日(日)

会場: 立命館大学 衣笠キャンパス

充光館 301 教室

定員: 170 名 (当日先着順)・入場無料

問い合わせ/CONTACT

立命館大学映像学会 / College of Image Arts&Sciences

TEL: 075-465-1990 (映像学部事務室)

Email: eizogakkai@gmail.com

WEB: <http://eizogakkai.blog106.fc2.com/>

〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町 56-1

56-1 Toujinkitamachi,Kita-ku,KyotoCity,Kyoto 603-8577

access

